

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	14 07 03	中期総合計画主要施策番号	4-02	担当課	部・課	教育委員会事務局 文化財・生涯学習課	
事業名	青年の家・少年自然の家管理運営事業			内線	4403		
				E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	S52 ~	根拠法令等	長野県青年の家条例、長野県少年自然の家条例				
実施方法	委託(指定管理)					国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的(必要性)	・青年の家、少年自然の家の利用者が快適かつ安全に利用できる施設運営を行う。 ・青少年の体験活動の一層の充実を図り、青少年の健全育成に寄与する。				
	対象	一般県民(他都道府県民も含む。)				
	目指すべき姿	・指定管理者制度の導入による民間のノウハウ等を活用した効率的な管理・運営及び利用者へのサービスの向上を図る。 ・青少年教育施設がもつ教育機能を有効活用し、青少年に対する自然体験や集団活動の機会の提供する。				
	事業内容	青年の家(松川・須坂)、少年自然の家(望月・阿南)の次に掲げる業務を指定管理者が行う。 ・施設の管理・運営 ・青少年の体験活動に資する主催事業の実施				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・委託料 松川町(松川青年の家) 26,700千円 ㈱フードサービスシワ(須坂青年の家) 28,000千円 信州リゾートサービス㈱(望月少年自然の家) 29,400千円 阿南町(阿南少年自然の家) 26,400千円 ・負担金 下水道負担金(須坂青年の家) 1,000千円
	最終予算額 (A)		千円	128,187	111,500	111,856	
	決 算 額 (B)		千円	125,955	111,500	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	125,955	110,881	111,547	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.50	1.50	1.50	
		概算人件費 (C)	千円	12,476	12,387	12,387	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	138,431	123,887	124,243		

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標算出式) 最終予算額 / 延利用人員
	延利用人員(宿泊+日帰り)(成)	人	68,264	77,221	78,000	
	主催事業実施回数(活)	回	92	145	145	
	利用者アンケート(成) 『大変満足』、『満足』と応えた者の割合	%	76.1	73.2		
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 利用者一人当たりコスト(対最終予算額)	円/人	1877.8	1,444	1,434	

  

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価		評価区分
	・施設の効率的な管理・運営 ・施設利用者の前年度増(H22 68,264人) ・主催事業の充実(実施回数の前年度増)(H22 92回)			・全4施設で前年度より利用者が増加した。 ・各施設において、それぞれ特徴のある主催事業を実施し、H22年度と比較して約1.6倍の増加となった。 ・利用者へのアンケート調査では施設の利用に関して「大変満足」「やや満足」と回答した者の割合が73.2%となっている。		b 期待どおり

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明 青年の家、少年自然の家は、近年特に自然体験活動の重要性が指摘される中で、青少年の教育施設として重要な役割を担っている。 平成22年度より指定管理者制度を導入したが、「長野県行政・財政改革方針(H24年3月策定)」に基づき、施設のあり方について検討していく。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	指定管理者制度の導入によりサービスの向上、効率的な管理運営が図られたと評価できるが、長野県行政・財政改革方針に基づき現行の4所体制について、そのあり方を見直す必要がある。				
	特記事項	施設が老朽化しており、各施設とも機能を維持していく際には大規模な修繕が必要である。				